



平成 25 年 11 月 5 日

各 位

会社名 日本水産株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 細見典男
コード番号 1332
問合せ先 経営企画 IR 室長 根本 喜一
(TEL. 03-3244-7490)

第 2 四半期（累計）業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 15 日に公表した業績予想と比較して、本日公表の決算において下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成26年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(連結)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	290,000	4,000	3,000	1,000	3 円 62 銭
実 績 値 (B)	291,611	5,304	5,775	3,184	11 円 53 銭
差 額 (B-A)	1,611	1,304	2,775	2,184	—
差 額 率 (%)	0.6%	32.6%	92.5%	218.4%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	277,032	2,912	754	△1,216	△ 4 円 40 銭

(個別)

(金額の単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	163,000	800	800	2 円 89 銭
実 績 値 (B)	164,312	1,133	1,635	5 円 92 銭
差 額 (B-A)	1,312	333	835	—
差 額 率 (%)	0.8%	41.6%	104.4%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	166,153	△2,743	△2,667	△ 9 円 65 銭

2. 差異の理由

個別業績につきましては、水産事業において水産物の在庫圧縮を進めるとともに、鮭鱒、えびが高値で推移しました。また、全社においてコスト削減に努めたことや、円安による為替差益、土地売却による固定資産売却益などを計上しましたので、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回りました。

連結業績につきましては、個別業績の状況に加え、水産事業において日本の漁撈会社やぶり養殖会社の業績が堅調に推移しましたので、営業利益、経常利益、四半期純利益が前回予想を上回りました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回発表の予想数値に変更はありませんが、今後の業績推移に応じて修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

また、期末配当予想の1株当たり0円（年間配当予想0円）に変更はありません。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上